

■第2回ワークショップ後の案(H28.12.10)

※今後のワークショップや関係機関の協議等で修正を予定しています。

(仮称) セントラルアベニューの基本設計 (案) について

studio on site

QURUWA FUTURE VISION 3

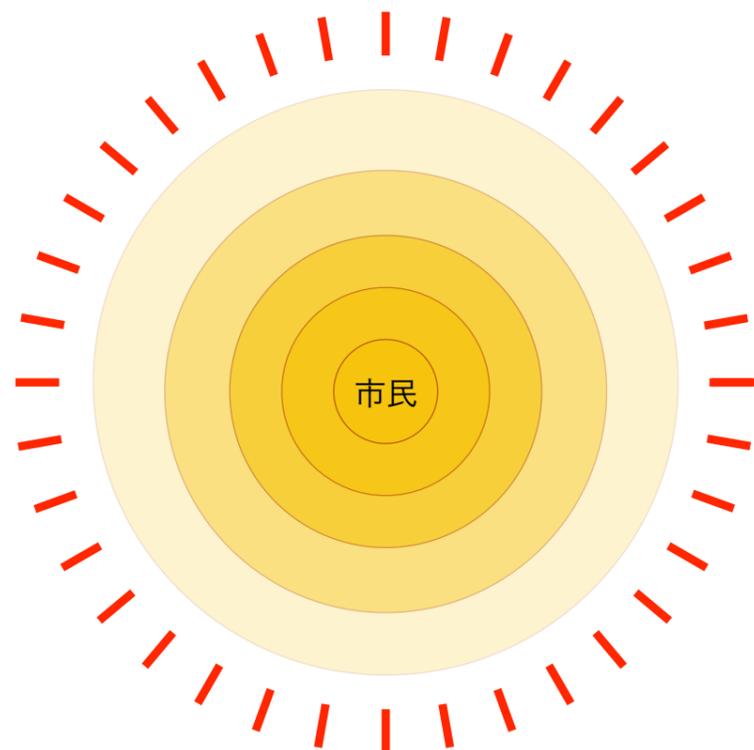
2016.12.10

1

公園／広場は 誰のための場所か？

はじめに

2



はじめに

3

ここにいる方々はもちろんのこと

■ 近隣市町村の人や観光客も市民である。

→CAは「居間」であり、「応接間」でもある。

→ここにいる私たちが「まちのシンボル」として、他の市民を招き交わる場所

■ 声なき人々、これから引っ越してくる人、
これから生まれる人も市民である。

→まだ見ぬ人々と共に過ごせる場所を想像する。

→CAは今までの歴史を受け継ぎ、これからも続いていく。

はじめに

4

■第2回ワークショップ後の案(H28.12.10)

※今後のワークショップや関係機関の協議等で修正を予定しています。

今日、ここにいる皆さんは **市民** の代表である。



私たち設計チームは、
皆さんのご意見を通して、できる限りのあるべき
全体像を見通していきたいと思っています。

はじめに

1. ブロックごとのデザインの説明

(以下4項目についてはより詳しい説明を行います。)

2-1. ステージ機能の移設・再配置

2-2. B1ブロックのコンセプト修正案

2-3. 河岸段丘を活かした眺望

2-4. 全体に関する確認事項

- バリアフリーの考え方
- 駐輪場配置の考え方

はじめに/QFV及びヒアリングでの市民の意見を経て



A1-A4 (籠田公園)

1. ブロックごとのデザインの説明

「景観」

- ・現在のステージは北西側へのつながりを邪魔している。その先の連尺(旧東海道)への広がりを感じられるようにしてほしい。
- ・中央緑道の行き着く先に、ほとんど使われておらず、人気のないステージがあるのは寂しい。東側に移ることに良いと思う。
- ・中央緑道の先がマウンドになり、人の姿が見られることで、活気があるように感じられる。
- ・ステージが籠田公園と聞いて思い浮かべる心象風景となっている。
- ・記憶、歴史を残すべき。

「使い勝手」

- ・現在のステージは大きく立派すぎて、ステージも高すぎるため、気軽には使えない。
- ・イベント以外で現状のステージを使っているところを見たことがない。普段から居られる場所にしてほしい。
- ・現在のステージは、イベントの時のステージと観客席の距離感が遠く、一体感を得られにくい
- ・ステージの袖も、照明もあり、仮設でステージを組まなくてもすぐに使える
- ・風除け(北風)・奥行きのため残すべき。南向きのため、冬場は日向ぼっこができる。

「コスト」

- ・前の市長が整備した物を簡単に壊していいのか?
- ・最近改修したばかりのものをもう壊すのか?
→昭和54年に整備、平成四年に改修工事
- ・素敵なステージを残し、使う機会を増やすことが街の発展に資する。
- ・使われないステージがあることの方がもったいない。

＜市民の方々から頂いたご意見＞

(QFV及び過去のWSでより)

赤:ステージ機能の移設に肯定的な意見
青:ステージ機能の移設に慎重的な意見

A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置①

「ステージのあり方」

- ・今のものはその時代のステージではある。これからの時代というニーズにあったものにするには必要
- ・市民会館やりぶらなど他との機能との役割分担が必要
→籠田ステージは、気軽に多くの人が使えよう場所にしたい。
- ・日常にどう使われているかという点で、ステージ以外の使われ方があって、イベント時(といっても小さなフリーイベントなど)でも使えるのは良いのではないか
- ・ステージの東側への移設は、QURUWAを意識して、旧東海道に人が流れるような形になっているので、まちづくり的にも良いと思う

(ヒアリングを行ったステージ利用者)

WE CAN STAND UP実行委員会事務局
夏祭り実行委員会事務局
岡崎城西高等学校
岡崎ジャズストリート実行委員会
+かごめ組

「使い勝手」

- ・こだわりはない。あるものに対して使うスタンス
- ・過去出た声としては、大きすぎる、高すぎるため、お客さんが一歩引いてしまう
- ・屋根、照明、電源は欲しい
- ・西向きの場合には夏の夕日が眩しくないか？
- ・使い勝手については、もう少し細かく考えていくこともできなくはないが、多くの人のニーズにあったものにしたほうがいい
- ・籠田ステージはもっと気軽に一般の人が使えるニーズがこれからでてる

＜ステージ利用者の方々からの意見も反映＞

(ヒアリングによる)

A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置②

9



＜ステージ機能の移設・再配置のコンセプト＞

再整備に伴い、CA全体のコンセプトにマッチする場所に移設・再配置を提案します。

1. CAの人の流れを連尺通りや北方向へとつなげていくため、視線/動線が抜けやすい設えを提案します。
2. 公園の北側は芝生のマウンドを主体とし、人々がくつろげる、柔らかな風景がアイストップとなることを提案します。
3. ステージ機能だけに特化せず、ヨガやダンスの場所、あそび場やピクニックなど、日常的に使える施設を目指します。
4. 高さを抑え、使いやすくした上で公園2カ所に設けて、より公園との一体利用がしやすい配置を提案します。

A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置③

10

■現況



既存ステージが人の流れをとめて、連尺通りに人が流れない

■再配置



A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置④

11



2016年11月
JAZZストリート

現況



2020年
とあるイベント

提案

東の緑台/ステージ
5mx10m

■ 既存のステージから北と東の「2つの緑台/ステージ」へ

1. 様々な用途で日常的にも、ステージにも使える緑台/ステージ (QFV、過去のWS、ヒアリングの結果より) を提案します。
2. ステージは旧東海道に沿わせる形として二十七曲がりを意識すると同時に、旧東海道に面した町割をイメージさせる配置とします。
3. 二つの緑台/ステージは公園の一部として、公園全体が活性化するようにデザイン/配置を考えます。
4. 一つのイベントで2つ同時に使うこともでき、状況に応じて様々な使い方が可能になります。
5. どちらか一方には屋根を付けるイメージですが、どちらにするかは今後さらに詳細検討をします

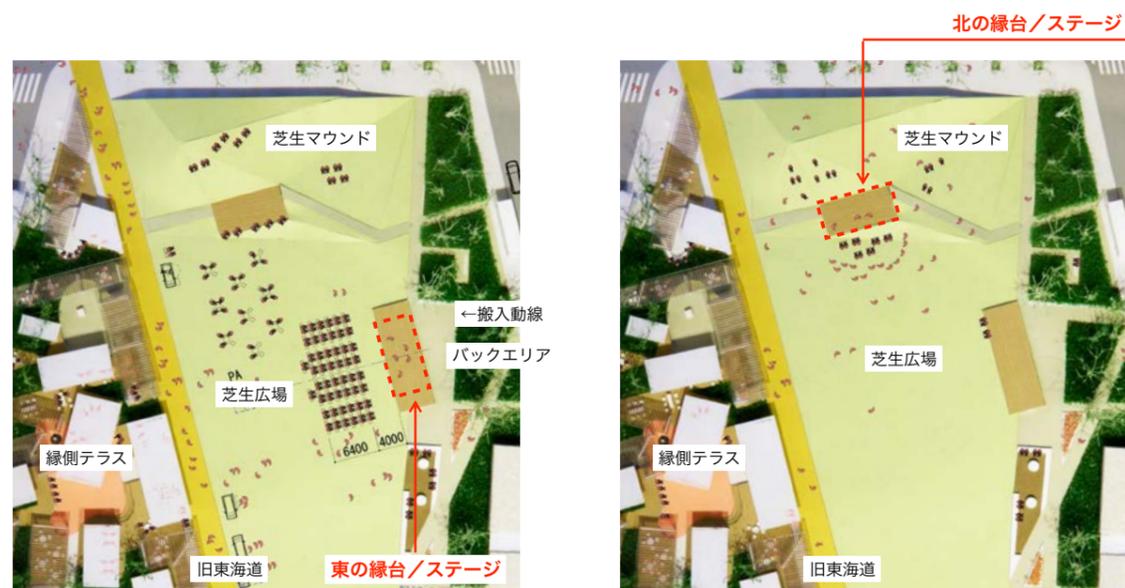
A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置⑤

12

■第2回ワークショップ後の案(H28.12.10)

※今後のワークショップや関係機関の協議等で修正を予定しています。



「東の縁台/ステージ」

1. 背後に縁側テラスがあり、親密なイベント環境がつかれる。
2. 縁側テラスはラウンジとなり、後ろからゆっくりと見物できる。
3. 舗装されたバックエリアが使いやすい。
4. 道路からの搬入口が比較的楽に使える。
5. 夏の夕方にまぶしい時間帯がある。

「北の縁台/ステージ」

1. 芝生マウンドの地形と一体化した縁台/ステージとなる。
2. 子供たちのプレイフィールドにも使える。
3. 芝生のマウンドは観客席としても使える。
4. 秋～冬の夕方にまぶしい時間帯がある。

A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置⑥

<日常使いの例>



ヨガとか



ダンス・コーラスの練習とか



ピクニックとか



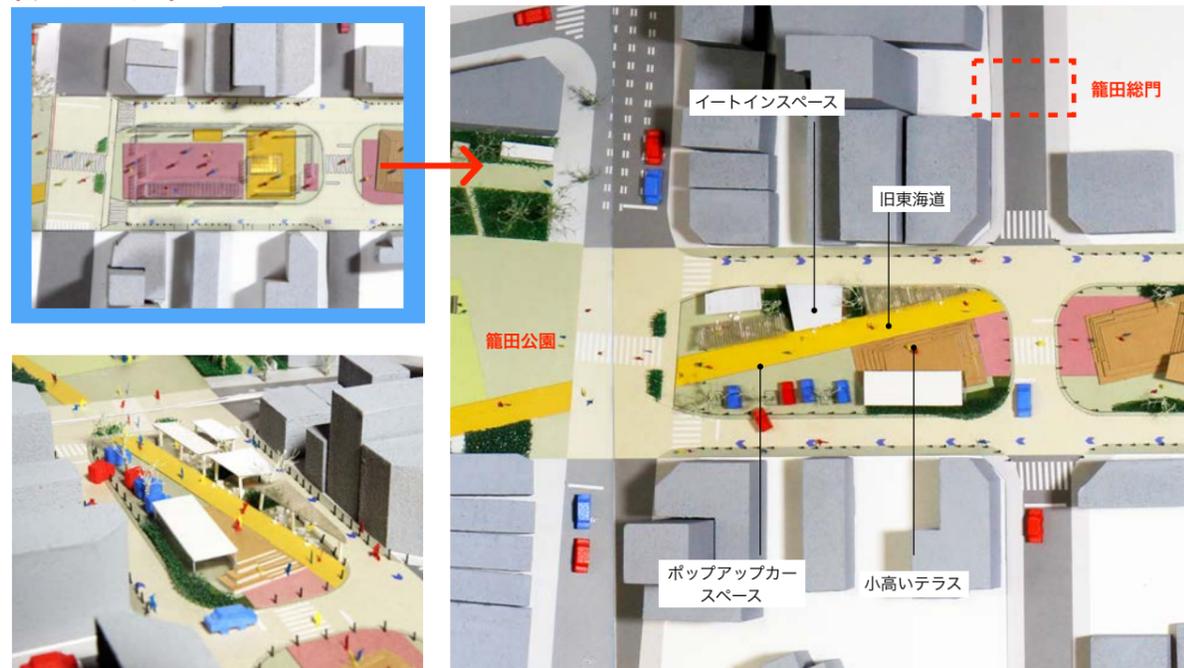
あそびとか

A1-A4 (籠田公園)

2-1.ステージ機能の移設・再配置⑦

<旧東海道沿いのチャレンジゾーン>

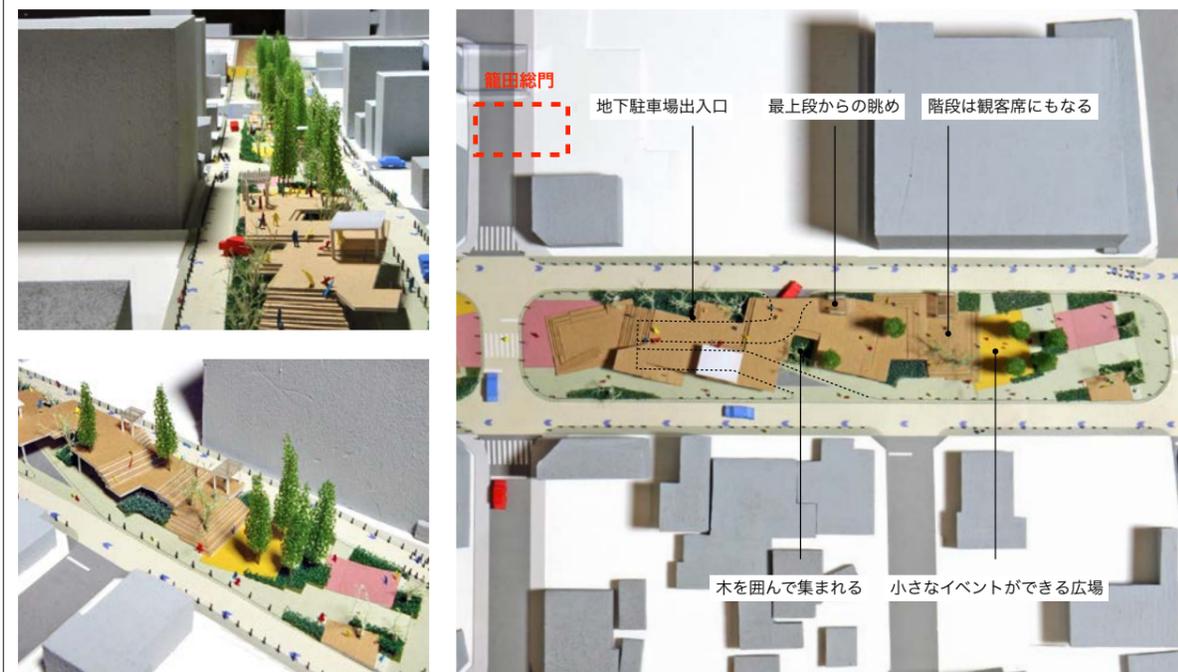
(QFV2のプラン)



B1

2-2. B1ブロックのコンセプトの修正案

<河岸段丘を活かした大階段テラス>

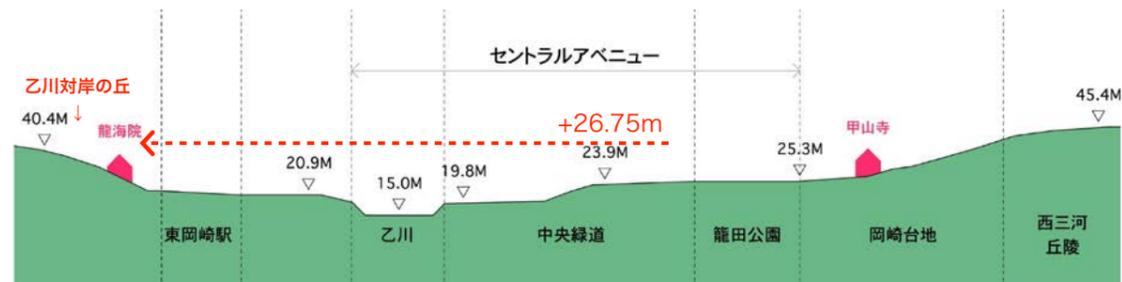


B2

1.ブロックごとのデザインの説明

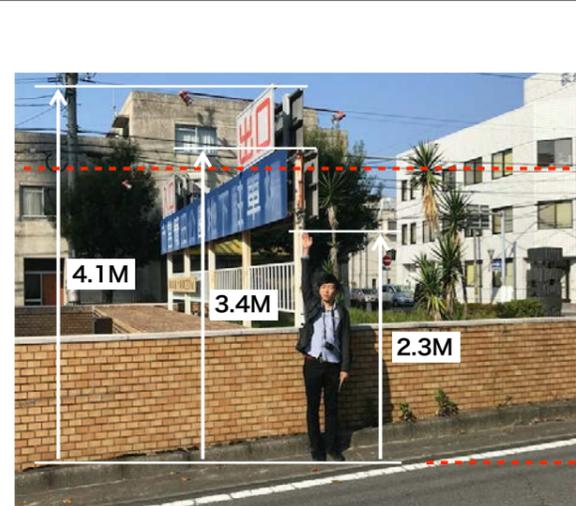


眺望を確保できる場所に居場所をつくる。

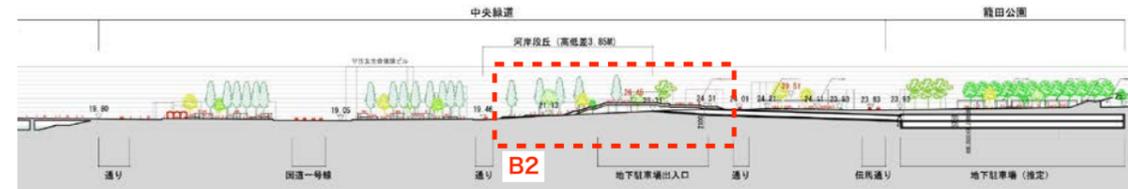


B2

2-3.河岸段丘を活かした眺望①



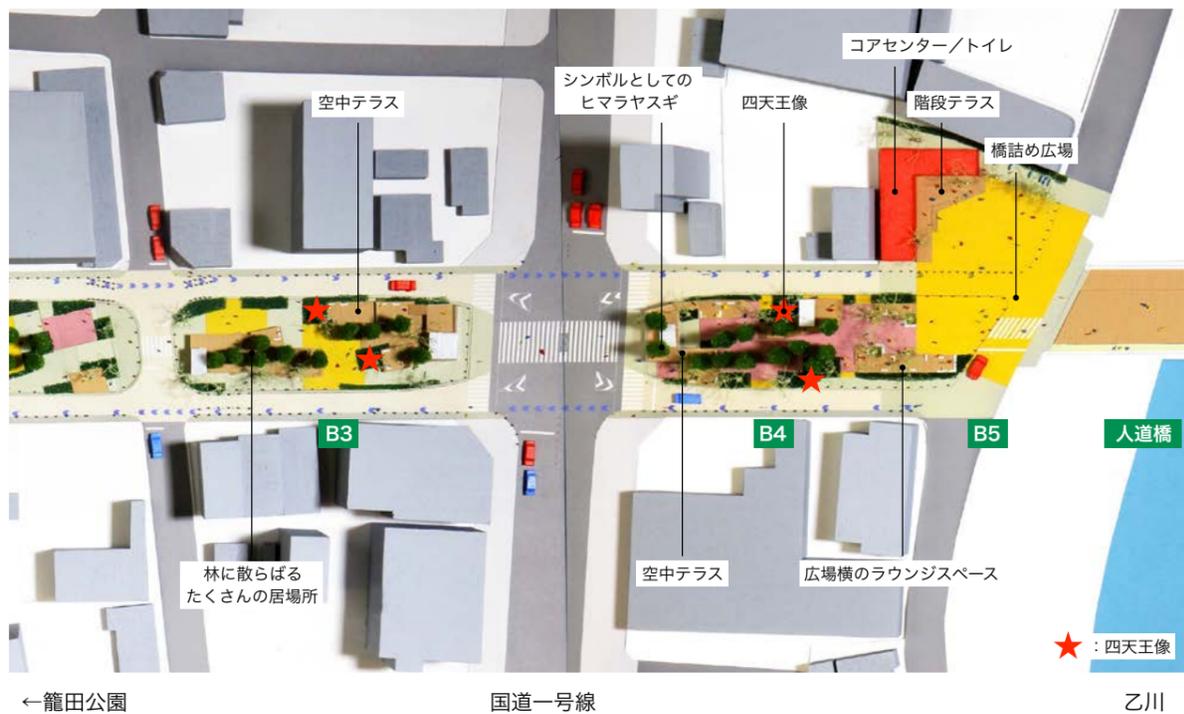
現在の青い看板よりも
テラスの高さは低い



B2

2-3.河岸段丘を活かした眺望②

<ヒマラヤスギを活かした立体的な滞在空間ゾーンと橋詰広場>



B3,B4,B5

1.ブロックごとのデザインの説明



空中テラス/林に散らばるたくさんの居場所



シンボルとしてのヒマラヤスギ



橋詰め広場と広場横のラウンジスペース

B3,B4,B5

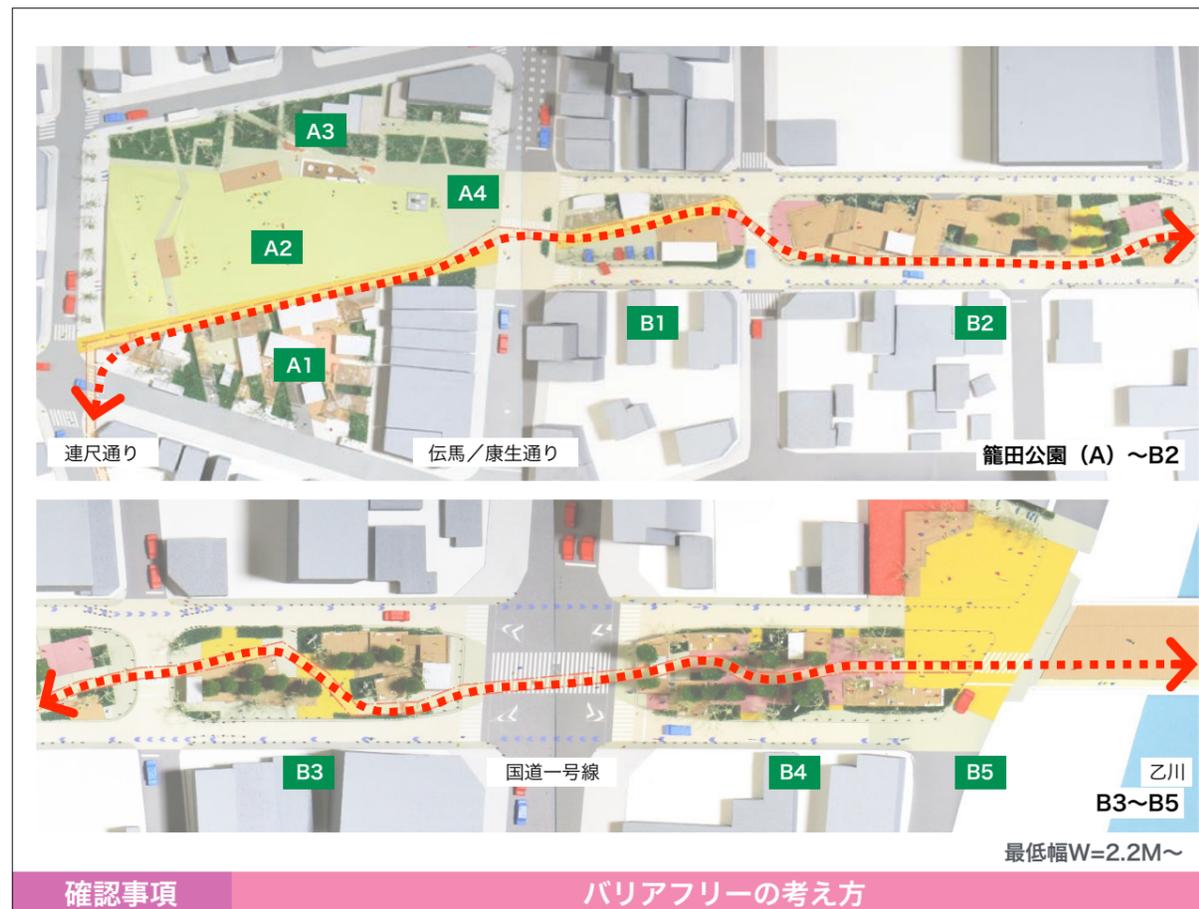
1.ブロックごとのデザインの説明

2-4. 全体に関する確認事項

→バリアフリーの考え方

→駐輪場配置の考え方

21



22



23

<意見をお聞きしたいこと>

基本設計をさらに先に進めるために・・・

- CA全体に関する大きな考え方について
- ブロック毎の個性とか、使い勝手/使うイメージについて
- 案に対しての率直な感想/質問について

※材料、仕上げなど細かい点は、今度さらに詰めて検討していきます。

なるべく多くの方のご意見を聞けるようにご協力をお願い致します。

24